

## 2006 年度上期 PC サーバ国内出荷調査報告

ノークリサーチ(本社:〒120-0034 東京都足立区千住 1-4-1 代表伊嶋謙二 電話 03-5244-6691、URL: <http://www.norkresearch.co.jp>) では 2006 年度上期の国内 PC サーバの出荷状況を調査した。2006 年度の予測も併せて調査、報告している。

### <2006 年度上期 PC サーバ市場のポイント>

- 06 年度上期 PC サーバ市場は上期過去最高の出荷実績を示す
  - ー台数は対前年比 13.0%アップで、270,120 台へ
  - ー金額市場は横ばいの 1374 億円。大型案件の影響で平均価格は一時的な低下へ
- 上期トータル出荷実績は好調だが、大型案件除くと実質的な市場の伸びは 6%程度
- 調査統計史上初めて、トップ 2 社で市場牽引。上位残り 3 社が前年割れ
- シェアに変動。トップ 5 社が「NEC、HP、デル」と「富士通、IBM」に分化
- NEC は 2 位以下を大きく離しトップシェア。HP はデルをかわして 2 位へ
- 大型案件でタワーの割合増加。ラック（薄型）は着実に増加。ブレードは微増
- 2006 年度は下期の動向次第で、不確実な要素もあるが 10.4%増で 57 万台が見込まれる

対象期間：(2006 年度上期実績) 2006 年 4 月から 2006 年 9 月  
(2006 年度予測) 2006 年 4 月から 2007 年 3 月

対象メーカー：電子情報技術産業協会 (JEITA) 自主統計参加及び未参加メーカー  
日本電気、富士通、デル、日本 IBM、日本 HP、日立製作所、東芝、  
三菱電機など

対象機種：電子情報技術産業協会 (JEITA) 定義に準ずる

調査方法：当該メーカーに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

調査期間：2006 年 11 月

### [2006 年度上期出荷状況]

ー対前年比 13.0%アップで、市場規模は 270,120 台ー

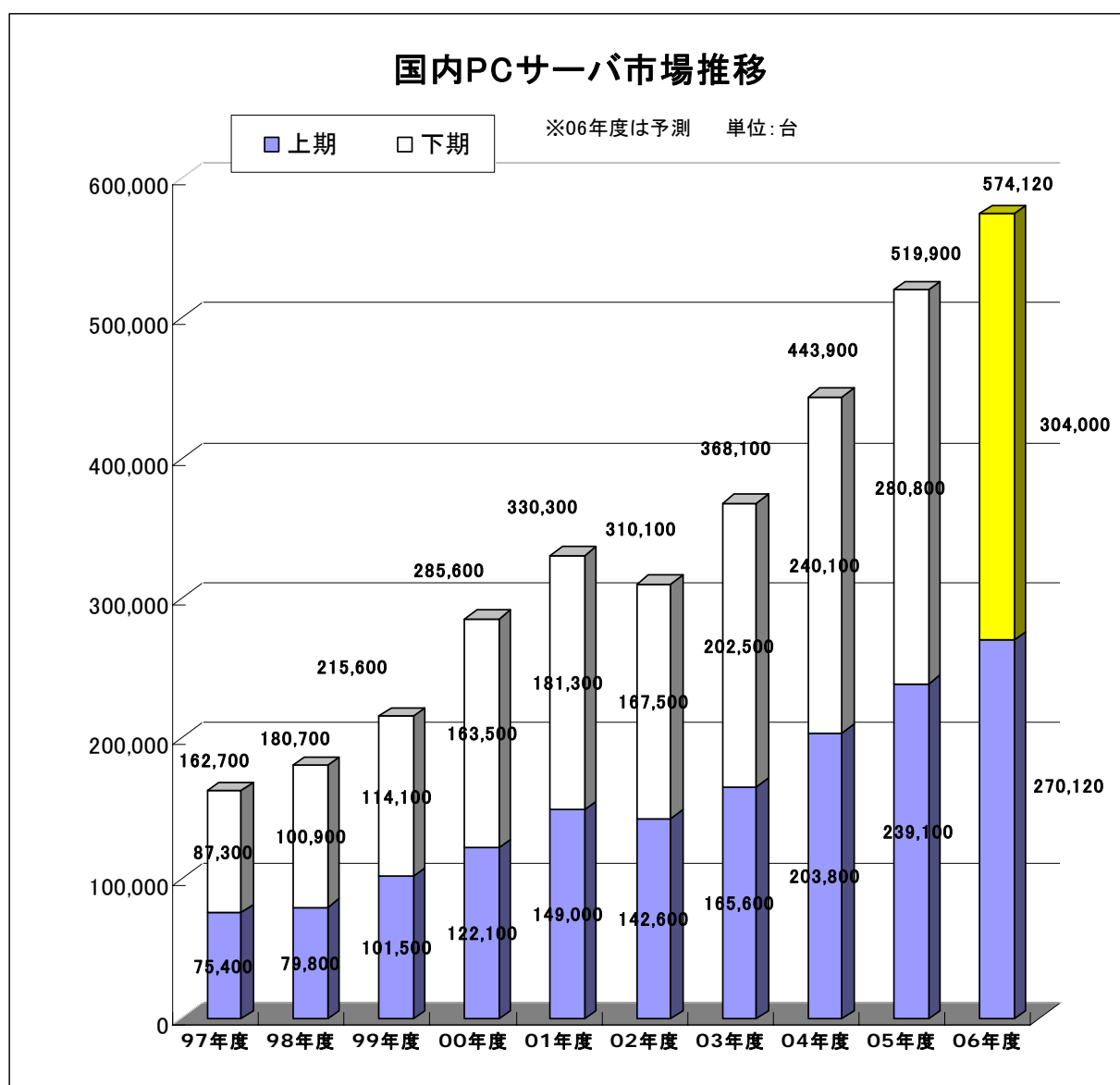
2006 年度上期は対前年比 13.0%アップで、上期ベースで過去最高を更新して 270,120 台となった。しかし市場の伸びを牽引したのは NEC、HP による大型案件であることはあきらかで、この特需的な案件を除いた市場の、実質の伸び率は 6%程度となり、高成長も一服感がみられる。

全般的には全体的な景況感は良好だが、業種や企業規模による需要にばらつきが見られた。特に製造業、流通業の中堅から大手企業を中心とした情報系サーバの増設利用やネット関連企業群の需要が目立った。一方で金融、証券、自治体は一巡感が見られた。メーカー別出荷では上位 5 社のうち「NEC、HP の大幅増加」が市場の伸びを支え、「デル、富士通、IBM は前年割れ」という統計史上初めてのケースとなった。期待のブレードは前年とほぼ同じ水準で大きな変化がなかった。

金額市場は、全般的に 2way やラック、デュアルコアタイプの市場投入により平均価格の下げ止まり傾向を見せていたが、1way タワーの大型案件により上期の平均価格は一時的に低下した。そのため金額市場はわずかに 0.7%アップの 1,374 億円となっている。

## 国内PCサーバ総出荷台数推移/予測（97年度から2005年度実績、2006年度予測）

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	合計	前年比
97年度	75,400	151.4%	87,300	124.0%	162,700	135.4%
98年度	79,800	105.8%	100,900	115.6%	180,700	111.1%
99年度	101,500	127.2%	114,100	113.1%	215,600	119.3%
00年度	122,100	120.3%	163,500	143.3%	285,600	132.5%
01年度	149,000	122.0%	181,300	110.9%	330,300	115.7%
02年度	142,600	95.7%	167,500	92.4%	310,100	93.9%
03年度	165,600	116.1%	202,500	120.9%	368,100	118.7%
04年度	203,800	123.1%	240,100	118.6%	443,900	120.6%
05年度	239,100	117.3%	280,800	117.0%	519,900	117.1%
06年度	270,120	113.0%	304,000	108.3%	574,120	110.4%



**[2006 年度上期メーカシェア]**

ーメーカシェアに大きな動き。NEC は大幅にシェアアップ、好調 HP がデルをかわして 2 位へ

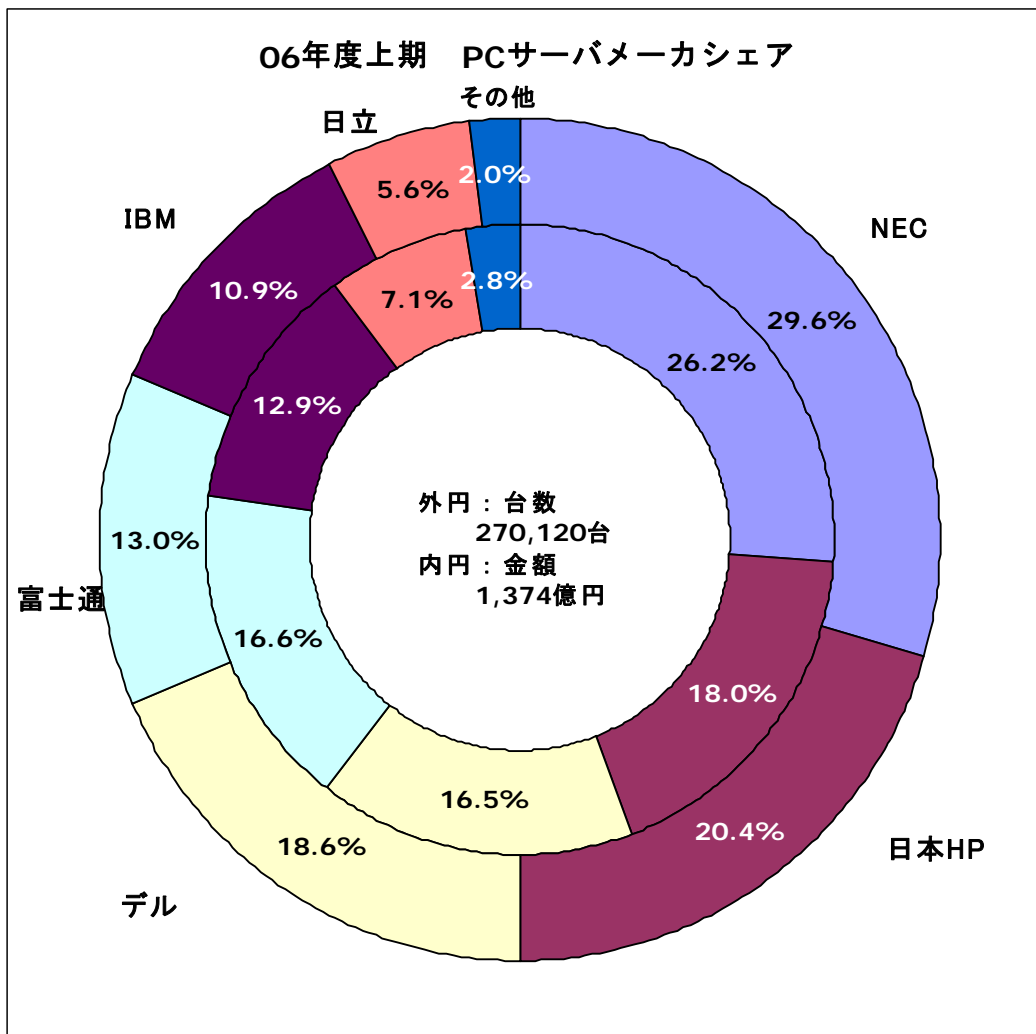
メーカシェアでは大きな動きが見られた。「NEC が強さを見せて、2 位以下を大きく引き離れた」ことと、一時は「トップ NEC にシェア 1 ポイント以内に肉薄していたデルの不調感」だ。逆に「HP がデルをかわして 2 位に浮上」している。

NEC は絶好調だ。「公共系で受注した約 22000 台（半数以上出荷済）の大型案件」が、市場全体を牽引している。それ以外でも全国のチャネル販売による「中堅・中小企業への細かな商談」とメーカ直販を中心とする官庁や流通大手への一括受注などで、手堅く実績を収めて、トータルで 29.6% と大きくシェアを高めている。

2 番手の HP は、流通業での約 5000 台の大型案件に加えて、大手 SI 企業による「大都市、大手企業、部門利用」へのラック販売などで大きく実績を伸ばして、デルをかわして 2 位となっている。

一方デルは前期に見られた大型案件がなく、しかも得意の「大都市、中堅企業の部門用途、中小企業向けの 1P タワー販売」も NEC、HP による攻勢と中小規模需要の一服感などの要因で、対前年割れとなっている。

富士通、IBM は PC サーバトータルとしては、上位 3 社に引き離された 2 社という位置づけになっている。両者ともに前年比マイナスの実績となっている。共通しているのが「大型案件」がないことと「1way タワー」という台数を稼ぐ販売展開をとっていないところだ。富士通はソリューションを絡めた展開で、中堅企業以上には実績を収めているが、台数的には IBM と並んで 2 番手グループとなっている。IBM はブレードの実績ではトップシェアをキープしている。数千台クラスの大口はないが「メーカ直販とチャネルとの協業による着実なブレード展開」が浸透している。初期段階で目立った研究所などの需要に加え、金融、製造業などの民間企業への導入が進んでいる。

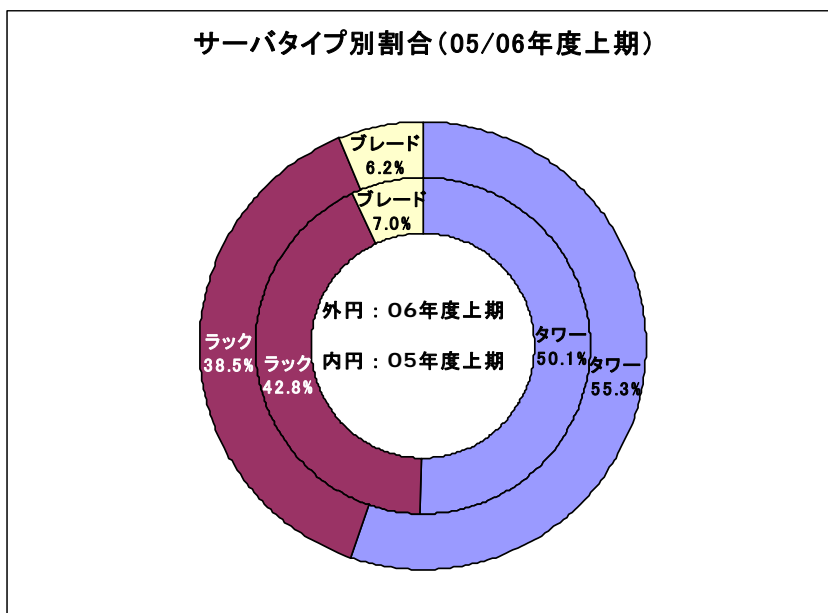


**[2006 年度市場展望]**

**ー2006 年度は 10.4%増で 57 万台市場が見込まれるが、不確実な要素もはらむ**

下期は、製造業や流通業の大手企業や通信、xSP 関連の旺盛な需要が、継続して堅調な伸びを示すだろう。景気回復が一様に上向きであれば、中堅・中小企業の情報系サーバの投資も増進して、2 桁に近い伸びを達成できるだろう。しかし逆に上期が大口径案件で市場の伸びを支えた事実を踏まえるならば、「一服感を見せ始めている」市場だけに、下期のサーバ市場は不確実な要素をはらんでいるのも事実だ。とはいえ 2006 年度トータルでは 574,120 台、10.4%の伸びは達成できるものと思われる。

一方 1P のタワー型に頼る台数偏重市場から、今後はデュアルコアの増勢に伴い、高機能タワー、2P のラックなどへシフトしつつある。またブレードは初期導入期から本格導入の入り口に差し掛かった感はある。「仮想化やサーバ統合」需要は、上期実績は大企業中心とした一部にとどまっていたが、商談の機会は確実に広がっており、下期以降は需要が顕在化しつつある。本年度では十分にパイを広げきれないだろうが、評価が定まる来年度以降にブレード普及の期待が高い。また「タワーからラックへ」のシフトは着実に進行しているが、「ラックからブレードへ」はドラスティックなシフトというより、短期的には「ブレードならではの運用管理性、スペース効率の良さ」などで、十分に普及しているラックと「住み分け」となる可能性が高い。



当調査データに関するお問い合わせ



株式会社ノークリサーチ  
 担当：伊嶋 謙二 (いしま)  
 e-mail: [pressr@norkresearch.co.jp](mailto:pressr@norkresearch.co.jp)  
 〒120-0034 東京都足立区千住 1-4-1  
 電話 5244-6691 FAX 5244-6692  
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>